

日本の木材活用リレー

東京2020大会レガシー事業

## ～みんなで作る選手村

## ビレッジプラザ～

レガシー利用  
について

こんにちは!! 森林政策課です。東京2020大会が延期されたこともあり、2年振りの発行となりました。

昨年、大会が無事に開催され、大会終了後に選手村内のビレッジプラザの建設に提供した『さがみはら津久井産材』が本市へ返却されました。

返却された木材は、大会のレガシー利用として既に「木製ソファ」に形を変え、本庁舎をはじめ木材が伐り出された地元の藤野中学校など、22の公共施設に設置しました。

また、今回は本庁舎本館1階の「案内カウンター」を更新し、木の香漂うカウンターへと模様替えしました。

ソファ、カウンターともに提供時の姿そのままに、角材を積み上げる形状となっており、

「THIS FURNITURE KEEPS 〇〇.〇kg-CO2 OF SAGAMIHARA'S SKY」の文字が印字されています。

これらのデザインは、東京ガスコミュニケーションズ(株)が展開する木製家具「CARBON STOCK FURNITURE」をベースにデザインしたもので、資材の加工は最小限にして再利用が可能な形状であるとともに、伐採され木材として使用された後も吸収した炭素を固定し続けることを分かり易く表すものです。

皆さんの記憶に刻まれた大会の感動と同様に、この木製品が“レガシー”としていつまでも大切に利用されることを願っています。



本庁舎1階ロビーに設置した「木製カウンター」



博物館など22施設に設置した「木製ソファ」

返却された木材は、ソファ等の加工時に生じた端材や未利用の残材があり、他のレガシー利用方法を検討していますので、決定しましたら改めてお知らせします!!

